

がん患者

ロジャー・キャラハン 博士

私は何年にも亘って、何人もの手に負えない痛みのがん患者を扱ってきた。私のところに来たケースは、様々な薬や薬物療法もあまり役に立っていなかった。何年も前に私が深刻な痛みを治療したとき、初めの数回で、痛みを軽減できたり、強い薬でも和らげないがんの進んだケースで痛みを完全に取り除くことさえできたことにとても驚いた。

東海岸のがん患者で、転移した腎臓がんの頑固な痛みを TFT 診断士に援助してもらっていた人を思い出す。薬は、このケースではまったく効かなかった。セラピストはその慢性的で深刻な痛みを 10 から 7 に和らげることができたが、それ以上は下がらなかった。それでも、その患者とセラピストは二人とも（理解できることだが）限界はあってもその援助にワクワクしたようだ。

そのセラピストは VT（ボイステクノロジー）のサポートを私に依頼してきた。多くのステップ B 原因診断のトレーニーは、困難な患者のために VT サポートを受け、VT サポートによって困難な患者についての洞察を得たり、アルゴリズム・コースを教える資格を得る。VT で私は完全に痛みのすべての痕跡を取り除くことができ、この結果に私たち 3 人はみな非常に喜んだのだ。

最近、私はがんの強情な痛みの深刻なケースを治療した。このケースの内科医は、モルヒネを使っており、痛みからとても解放されることがしばしばあったが、このケースもあまり効かなかった。完全な鎮痛がほとんど瞬時である私の治療するほとんどのケースと違い、これは私が「慣性の遅れ」と呼ぶことにより 1 日半経ってから痛みが少し和らいだ。さらなる治療もなしに、痛みは徐々に和らぎ続け、数日かかって完全に消えた。

がんがあることを知ることはとても恐ろしい体験である。がん患者にはがんがあることのトラウマ、ストレスの他の原因やあらゆる心理的逆転を見つけ治療することを私は勧めたい。

私たちが単に心理的逆転を修正することは（TFT 治療は数秒だが）時々 HRV（心拍変動）に深い影響を与える。HRV は、心臓の問題だけでなく、乳幼児突然死症候群(SIDS)や糖尿病を含む様々なケースの死の最善の予測であると証明されている。HRV やがんに関する

研究は見たことがまだないが、興味深い研究プロジェクトになるだろう。HRV での改善ががんの生存を援助することを想定することは理にかなっているようである。

17年前に私が初めて疼痛治療を発見したとき、痛みを自覚することを単にどうにかブロックしているのだと思っていた。何年もの経験を重ねた現在は、根本的に修正可能で、最も深いレベルで痛みの原因を取り除いているのだと私は考えている。何が起きているかについて正確に機能的にもっとよく学ぶ必要があるが、それがなんであれ、驚くほどに効果的なのである。この非常に効果的な治療で、私たちはヒーリング・システムのコントロールに働きかけているようである。

がん患者について話したが、放射線治療や化学治療に伴う拒食の一般的な症状について触れなくてはならない。食べることができないことは、すでに弱っているがん患者をもっと弱くする。拒食症の患者（文字通り死ぬほど飢えている若い女性）を治療する時のように、私たちはがん患者を治療して食べ物に対する反対の反応のすべての痕跡を取り除くことがわかった。通常、そのような患者は治療の後には空腹をうったえ、すぐに食べ始める。これは患者の一般的な体力をつけさせるのに大変役に立つ。

私は、しばしばがんがあるかないかを決定付ける診断の検査を患者が恐れているときに治療をし、通常恐ろしい結果の可能性とともに検査を恐れず、心強く感じさせることができる。客観的に検査やその意味が恐ろしいことは理解できることなのに、TFT がこれができるのは驚くべきことである。この結果は、私たちの治療で、一般の人々が災難の可能性に直面しても非常に強くいられることを示している。治療の成功の後、その患者は自分が最も望んでいた方向だと報告するが、最悪のニュースも彼らを面食らわせるわけではない！

多くの人々には必要な手術だが、それを怖がることは理解できる。何年前のことだが、私の友人が事前の忠告のないままがんの手術を急ぎょ行うことになり、（理解できることだが）とても緊張していたことを忘れることができない。彼の妻が病院に付き添って、そこから私に電話をしてきた。彼女は電話で急な治療を依頼してきたのだが、VT 治療の後には、彼はとてもリラックスし、病室でいびきをかいていた。看護婦がトランクライザーを持ってきたのだが、彼にはその必要はなかった。

手術は大成功であった。

以前、麻酔医であるクライアントがいた。彼は長女が手術の間に怖がっていると話した。念のために言うておくが、彼は恐怖症や不適切な恐怖のことを言っていたのではなく、どんな大きな手術にも伴うまったく適切で強烈な恐怖のことを言っていたのである。私たち

が HRV（心拍変動）のことをもっと理解するにつれ、恐怖または他の動揺する感情が心拍の変動性を制限することは明らかで、研究でこのような制限が死を促進し予測さえもできることがはっきりと示されている。

私は、薬やサイコセラピーのような治療で TFT ほど心臓の変動性を改善できるものがあるという実証を探ることができない。私たちの治療が、命だけでなく生きる楽しみも広げることが証明できるのは理にかなっているようである。

読者のほとんどは TFT が容易に恐怖を取り除くことをよく知っている。HRV につなげられる患者がいれば、治療後に私たちがいつもするように、TFT 治療の効果が HRV を力強く改善することがわかるだろう。